

2025

秋学期

私の大学や町の紹介

神戸市外国語大学と交換留学提携を結んでいるアメリカ、イギリス、イタリア、ウズベキスタン、カザフスタン、スペイン、中国、ドイツ、ロシアの大学からの交換留学生たちが、母国の大学や町の紹介を書いてくれました。ぜひ留学先を決める際の参考にしてください。



目次

アメリカ	イースタンワシントン大学の紹介	1
イギリス	ヨークの紹介	2
イタリア	ローマとサピエンツァ大学の紹介①	3
イタリア	ローマとサピエンツァ大学の紹介②	4
ウズベキスタン	ウズベキスタンの紹介	5
ウズベキスタン	タシケントの紹介	6
カザフスタン	アルマトイの紹介①	7
カザフスタン	アルマトイの紹介②	8
スペイン	サラゴサ大学の紹介	9
スペイン	サラゴサの紹介	10
スペイン	マドリードの紹介	11
中国	北京語言大学の紹介①	12
中国	北京語言大学の紹介②	13
ドイツ	ミュンヘン大学の紹介①	14
ドイツ	ミュンヘン大学の紹介②	15
ドイツ	ミュンヘンの紹介	16
ロシア	ウラル連邦大学の紹介	17

イースタンワシントン大学の紹介



★勉強場所★

まず、いい勉強場所をすすめたいと思う。EWU のキャンパスは結構大きいから、たくさんの勉強場所がある。人によって好きな勉強場所の雰囲気が違うので、2つの反対の場所を紹介したい。静かで集中しやすい場所といえば、**図書館**だ。図書館は3階にあって、色々なサイズの部屋で一人でも友達とでも一緒に勉強ができるし、チューターに教えてもらうことができる。もし、静かな場所があまり好きじゃなかったら、**pens union** に行ったほうがいい。そこは **PUB** と呼ばれている。PUB で食べたり、友達とつるんだり、もちろん勉強したり、同じ建物で全部できる。



★食べる場所★

勉強した後にキャンパスで色々な食べる場所に行くことができる。PUB は**パンダ・エクスプレス**と**フレッシュン**というレストランがあって、そして**ユニオンマーケット**という食堂もある。レストランだけじゃなくて、コーヒーショップもある。キャンパスで値段が少し高いが、とても美味しく、便利だ。



★楽しい場所★

最後は楽しい場所について紹介したいと思う。EWU には屋内の**プール**と**スケート場**があって、たくさんジムもある。運動、バレーボール、バスケットボール、テニスなどのスポーツができる。使用は無料だ。



執筆者 Q.M.

(イースタンワシントン大学からの交換留学生)

イギリス ヨークの紹介

ヨーク・セント・ジョン大学がある町



私の大学は、歴史のある町のヨークの中心にあります。ヨークの人口は14万人しかいませんが、たくさんの観光客が訪れるので、いつも賑やかです。多くの観光スポットがあります。



<https://www.worldatlas.com/articles/york-minster-notable-cathedrals.html>



<https://themorbidtourist.com/the-york-ghost-merchants/>

まず、**ヨーク・ミンスター**が有名で、それを見るため、多くの人を訪れます。1472年に建てられたヨーク・ミンスターは、古くてきれいな大聖堂で、176メートルの高さがあるため、街を見おろしています。ヨークに住んでいる人は無料で入ることができます。さらに、ほとんど毎日、大学や店を歩きながらその美しい大聖堂を見ることができます。

次に紹介したい場所は、**シャンブルズ通り**です。「ハリー・ポッター」の映画では、ダイアゴン横丁のモデルとして使われました。そして、その狭くて暗い通りには、たくさん「ハリー・ポッター」グッズの店が並んでいます。



<https://www.flickr.com/photos/raymanila/52596807737/>

また、ヨークにしかないお店もあり、ヨーク・ヴィキングスの店やヨーク・ゴースト・マーチャントの店があります。オリジナルのかわいいお化けやこわいお化けは、ゴースト・マーチャントのお店でしか買えません。



<https://www.timeout.com/york/things-to-do/the-river-ouse>

最後に紹介したいところは、ヨークの中心を流れる**ウーズ川**です。川のそばには高いレストランが多く並び、昼でも夜でも景色を楽しみながら散歩できます。また、川で小さなフェリーに乗れます。

私が紹介した場所以外にも、見る場所はたくさんあります。ヨークは美しい街で、訪れれば、いつでも楽しめます。

執筆者 K.E.W.さん
(ヨーク・セント・ジョン大学からの交換留学生)

イタリア ローマとサピエンツァ大学の紹介①



ローマ。人口は 270 万人で面積は約 1285 平方メートル。1200 年以上ヨーロッパ文明発祥の地であった。ローマ市はそのまま博物館のようなもので、ここでの二つの名所を紹介したいと思う。



https://colosseo-roma.it/wp-content/uploads/2024/08/Colosseo_1.jpg

最初に、世界的に知られるコロッセオである。**コロッセオ**は 72 年に建立された古代ローマの**円形劇場**であった。コロッセオから凡そ 10 分歩いて行ったら**アルターレ・デッラ・パトリア**に着く。直訳したら国父の祭壇になるけれどもイタリア王ヴィットーリオ・エマヌエーレ 2 世記念堂のほか**無名戦士**の墓も配置されている。ローマ市は様々な博物館や美術館もある。但し、ローマ市は広漠としているので交通手段が必要になる。普段バスにしても地下鉄にしても交通費は約 260 円になっている。

しかし、学生のみなさん安心してほしい。イタリアでは、月の第 1 日曜日は博物館や美術館などが無料になっていて学生だったら一般的に入館料が半額であるので非常にお得である。

ローマと言えば美味しい料理だ。私が一番お勧めしたいレストランは**トンナレーロ**という店だ。チェーン店で美味しくて本格的なカルボナーラが食べられる。もう一つをお勧めしたいのは**トラットリア・ソラ・レーラ**というレストランだ。これも人気のある店で本場のローマ料理が楽しめる。

イタリアには**アペリティヴォ**という風習もある。翻訳は食前酒でローマのボローニャ広場はそれをするのに最適の場所だ。更に、数多くの若者が集まり、ローマの雰囲気を感じられる。



https://res.cloudinary.com/ef-lab/image/upload/w_600,h_310,c_fill,g_auto:subject,q_auto,f_auto/restaurant/71e0c90b-0205-47f7-



https://www.uniroma1.it/sites/default/files/styles/1150_300/public/drone_no_machine_0.jpg?itok=8fgf166c-5f6c9e5f42a06688

最後に、ローマには欧州内の最大の大学がある。それは**サピエンツァ大学**である。1303 年に創立され、現在は約 12 万名の学生数に達し、21 の学部を持つ。Q5 世界大学ランキングにおいて、古代史学では世界第 1 位で一般古典学では東京大学を 1 位上回る。ローマを観光した人に言わせると、ローマはまるっきりあなたに魔法をかけるようだから皆さんも是非行ってほしい。

執筆者 M.H.さん
(サピエンツァ大学からの交換留学生)

イタリア ローマとサピエンツァ大学の紹介②



ローマといえば、面白い都会というイメージなのではないだろうか。留学の機会があるということなので、この文章ではローマとローマ大学を少し紹介したいと思う。

まずは、大学から紹介する。私が通う大学のローマ大学はサピエンツァ大学とも言う。ヨーロッパの大学の中でも非常に大きく、歴史がある。ローマ大学は1303年に創立され、現在、11万人以上の大学生がこの大学で勉強している。世界の大学ランキングでは、ローマ大学は125位であるが、**古典研究と古代史研究では世界1位**である。ローマ大学の有名な出身者はイタリアの現在の外務大臣のタイアーニ氏や、欧州銀行の元会長のドラージェ氏がいる。



ローマ大学の本部の大学街の入口



東洋学科の「マロコ・ポロ」ビル

続いて、大学のサービスを少し紹介する。図書館は大学の学科が自分の図書館を運営しており、例えば、東洋学科の図書館は1904年に施設された。大学のビルも多く、それぞれ食堂やカフェテリアがあるが、主に学生は本部のビルの食堂に行き、3コーナーで食事を取る。

最後に、ローマを少し紹介する。ローマはヨーロッパの2番目に広い街なので、楽しめる場所も多い。大体、大学生は大学の周辺の繁華街で金曜日と土曜日の夜を過ごす。選択肢は多く、都心で観光したり、買い物したり、劇場でオペラを観たり、夏には海で楽しめる場所もある。もし、欧米の文化に興味があれば、その文化が生まれた街のローマのサピエンツァ大学に留学してみたい。



執筆者 N.R.さん
(サピエンツァ大学からの交換留学生)

ウズベキスタンの紹介



私はウズベキスタンから来ました。ウズベキスタンは中央アジアの真ん中に位置している、大地の恵みが豊かな国です。この豊かな国を知ってもらいたいです。ウズベキスタンに旅行してみたい人に最初にお勧めしたいのは**バザール**です。多くの外国人がウズベキスタンに興味のある理由の一つは果物や野菜です。その味は日本の果物や野菜の味と比べたら全く違いますので、どうぞバザールに新鮮な農作物を食べに来てみてください。



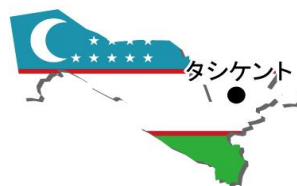
<https://share.google/images/12e7WxH4q4J9V6JaU>



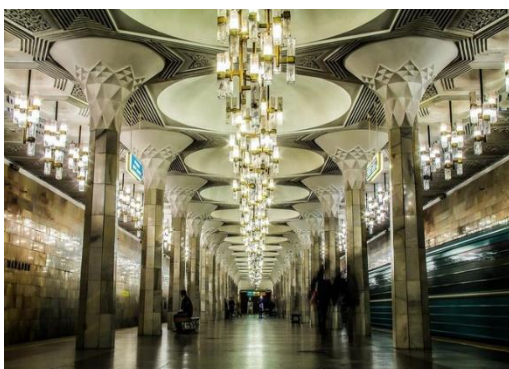
<https://share.google/images/ueFiGwXGUDSo0poGh>



<https://share.google/images/eXjqQIMRXcDnRajEs>



タシケントはウズベキスタンの首都です。タシケントで私にとって一番芸術的なもの、美術館も顔負けの場所は**地下鉄**です。各駅に個性があって、具体的に歴史的な場面を表しています。地下鉄を探検すれば、ウズベキスタンの歴史や文化を学べます。さらに、どれだけ遅くに行っても、何回乗り換えても運賃は同じです。これもぜひ体験していただきたいです。



https://pikabu.ru/story/tashkent_metro_promenyat_vot_yeto_vot_na_status_inostrannogo_spetsialista_takoe_sebe_11759769

執筆者 M.R.L.
(ウズベキスタン国立世界言語大学からの交換留学生)

ウズベキスタン タシケントの紹介



ウズベキスタン国立世界言語大学がある町

私の大学がある町はタシケントで、人口は 320 万人ぐらいだ。ウズベキスタンの首都なので、観光する場所



が多い。タシケントに留学する機会がある人に3つのおすすめのスポットを紹介したい。

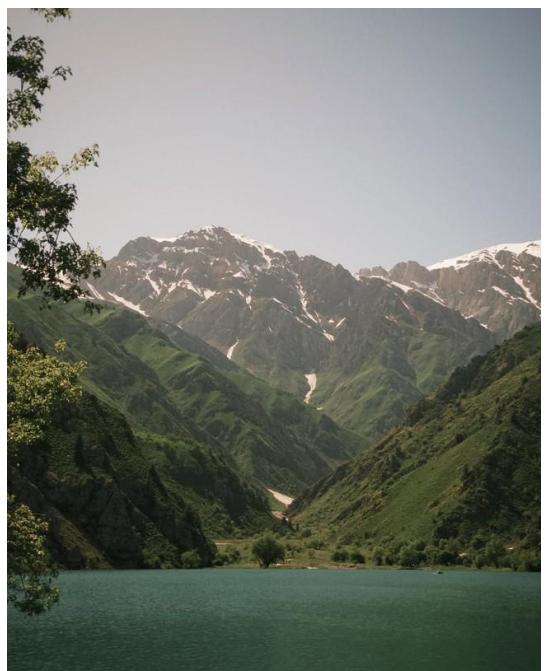


初めに、タシケントの穴場、「ララカウズ運河」について話したい。そのカナルの長さは 5.5km で、地元の人に「タシケントのヴェネツィア」と言われている。観光客の中であまり有名じゃないから、存分に楽しんで 古いタシケントの美しさを実際に見ることができる。

次は**チョルスーバザール**というスーパーだ。普通のスーパーと違って、昔から歴史的な建物で円形に建設された。中にはたくさんの屋台が丸く並んでいて、歩き回りながら買い物することができる。建物の建築もユニークだし、値段も安い。



また、**ネフリト**という湖があって、タシケントに来た時、ぜひ一度訪れて欲しい場所の一つだ。市内から少し離れた静かな場所にあって、自然がとても豊かで、勉強や都会の生活に疲れた時心と体を休めることができる。天気のいい日には周りの山や木々が水面に映って、とても美しい景色が広がる。友達と散歩をしたり、写真を撮ったりするのもぴったりな場所で、タシケントの自然の魅力を感じることができると思う。



タシケントは神戸に比べると、暑いので 夏の時気をつけてほしい。なぜかという、タシケントの夏は乾燥しているからだ。地元の人のように温かいグリーンティーを飲んで体温を調節したほうが良い。また、冷たいものを食べ過ぎないように気をつけることも大切だ。

ぜひ、魅力あふれるタシケントを訪れて、素晴らしい体験をしてほしい。

執筆者 K.A.K.A.

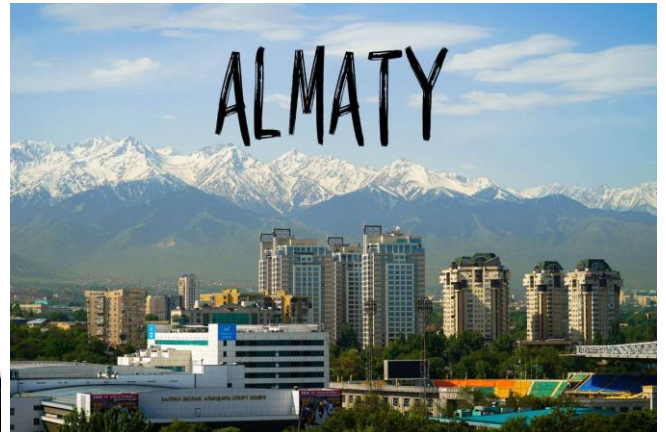
(ウズベキスタン国立世界言語大学からの交換留学生)

カザフスタン アルマトイの紹介①



カザフ国立大学がある町

私の大学があるアルマトイは、カザフスタンにある大きな都市です。アルマトイはとても賑やかで、さまざまな観光スポットがあります。アルマトイに来たら、ぜひ行ってほしいおすすめのことを三つ紹介したいと思います。



まず一つ目は、アルマトイの観光地として有名な**山のリゾート地**です。ここでは、アイススケートをしたり、ケーブルカーに乗ったりすることができます。ケーブルカーで山の上まで行くと、スキーやスノーボードも楽しめます。



次に紹介したい場所は、「**ゴールドスクエア**」です。ここはアルマトイの中心にある地区です。このエリアには、大聖堂やモスク、広場、公園、大学、博物館などがあります。特に面白い場所は「**アルバート通り**」です。ここにはカフェやお店、映画館、ライブ音楽があり、若者が多く集まります。とてもにぎやかで、歩きながら楽しむことができる場所だと思います。

三つ目は、「**コクトベ**」という丘です。コクトベへはロープウェイで行くことができます。山の上からは町の景色が見えて、とてもきれいです。また、いろいろなアトラクションもあるので、友達や家族と行くととても楽しい場所です。



アルマトイは自然や観光地だけで有名な町ではありません。若い人が多く、とてもにぎやかで楽しい町だと思います。アルマトイの人々はとても親切で、明るく、オープンです。私にとって、アルマトイは一番好きな町です。ぜひ一度、アルマトイに来てみてください。

執筆者 Y.K.
(カザフ国立大学からの交換留学生)

カザフスタン アルマトイの紹介②



カザフ国立大学がある町

私はカザフ国立大学で勉強しています。この大学は**アルマトイ**という町にあります。アルマトイはカザフスタンの南にあります。この町はカザフスタン一番大きなそして有名な町です。そのために私はアルマトイについて紹介したいと思います。



アルマトイは大きくて美しくて面白い町です。町には大学や図書館がたくさんあります。また劇場や公園など出かける場所も多いです。大きなショッピングモールもたくさんあり、とても便利に買い物ができます。

また、市場もいくつかあり、安く色々なものを買うことができます。町の近くにはとても高い山があります。冬は山でスキーをすることができます。**シンブラック**という有名なスキー場があります。



また、メデウという大きい高所スケートリンクがあり、氷の上でスケートもできます。山々の中には**タルガル**という高さ 4979 メートルの山もあります。

夏は山に登ったり、自然を楽しんだりすることができます。

一方で アルマトイには問題もあります。空気があまりきれいではなく、交通渋滞も多いです。それでもアルマトイはとても魅力的な町です。私はこの町が大好きです。



執筆者 N.N.N.さん
(カザフ国立大学からの交換留学生)

スペイン サラゴサ大学の紹介



私の大学は「サラゴサ大学」です。この大学はスペインの北東にあるサラゴサという町にあります。サラゴサは学生にとっても人気があり、多くの若者が住んでいます。留学生が多いので、外国から来る学生も住みやすい町だと思います。

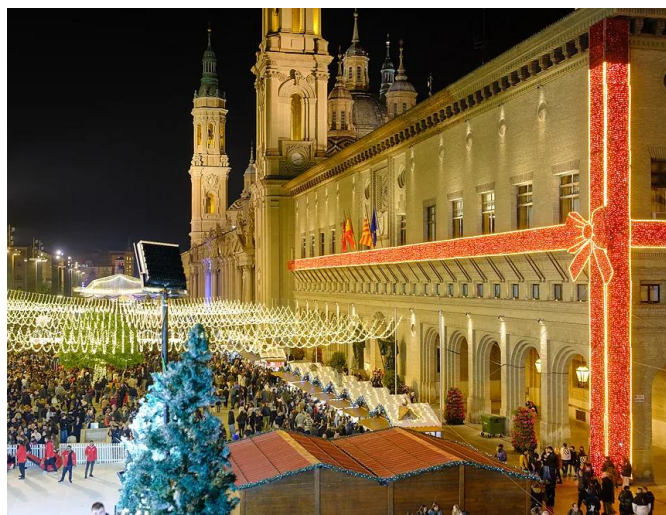


出典：<https://www.traveler.es/articulos/>

この町では一番有名なのは**ピラール大聖堂**です。また、ローマ劇場とエブロ川などがあり、歴史を感じられる観光地がたくさんあります。



出典：<https://www.spain.info/es/lugares-interes/barrio-el-tubo/>



出典：<https://www.elmundo.es/metropoli>

サラゴサでは美味しいスペイン料理をたのしむことができ、人々もとても親切です。そのため、毎日楽しく生活できる街だと思います。私はサラゴサを留学先としておすすめします。

さらにサラゴサでは一年中、いろいろなイベントがあります。春には**花のお祭り**が行われて、町はとてもきれいになります。冬のクリスマスには、通りがライトで飾られているいろいろなイベントを楽しむことができます。秋には、サラゴサで一番大きくて伝統的なお祭りが行われます。

大学では学生のためのイベントや言語交換の集まりが多く、友達が作りやすいです。生活費もほかの大きな町より安いです。

執筆者 J.A.A.さん
(サラゴサ大学からの交換留学生)

スペイン サラゴサの紹介 サラゴザ大学がある町



私はサラゴサという町から来ました。サラゴサはスペインの北東に位置しています。**エブロ**という川が町を通っています。サラゴサはエブロの谷にあるので、時々風が非常に強くなります。その強い風は**シエルソ**という名前と呼ばれています。



<https://www.rtve.es/television/20221209/aljaferia-zaragoza-torretrovador-opera-giuseppe-verdi-pais-para-leerlo/2411184.shtml>



<https://www.enjoyzaragoza.es/curiosidades-las-fiestas-del-pilar/>

サラゴサには古い歴史があります。ローマ帝国の軍がサラゴサまで来て、建物を建てました。その後、町はイスラム教徒に占領されました。それで、サラゴサには色々な文化や時代の建物が残っています。

ローマ帝国の時代の円形劇場や地下にある廃墟などがたくさん残っています。その中で**アルハフェリア**という宮殿はイスラム教徒によって建てられており、とても立派な建物です。

サラゴサの伝統的な料理は**子羊の料理**がとても有名です。他には、**ボラハ**という野菜やパンで作られている**ミガス**という料理もあります。毎年**10月12日**はとても大きい祭りが行われます。スペイン全国から人々が集まって来て、伝統的な服を着て、まちの聖人に花をお供えします。伝統的な踊りや歌を演奏する人が多いです。ぜひ、興味があったら、サラゴサに来てください！

執筆者 A.C.
(サラゴザ大学からの交換留学生)

スペイン マドリードの紹介

マドリード自治大学がある町



私の大学はマドリード自治大学です。マドリードの生活はとても楽しいです。マドリードのいい点は、友達を作るのが簡単なことです。なぜならスペインのいろいろな地方から勉強しに来る人が多いからです。マドリードに来たら、ぜひたくさんの方に遊びに行ってみてください。

夜になると、道がとてもにぎやかなので、**マラサーニャ地区**や**チュエカ地区**が訪れるのにおすすめです。一方で、もっと観光地っぽいところが好きなら、**スペイン広場**や**グランビア**や**王宮**や**ソル広場**に行ってみてください。お店やレストランが多くて、友達と遊ぶのにとてもいいです。また、マドリードは地下鉄を使うことができます。安くてとても便利ですが、マドリードを歩いていると面白いものや場所を見つけることができます。



<https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commo>



<https://madrid-discovery.com/wp->

伝統的なマドリードの食べ物を食べたいなら、**マヨール広場**は絶対に避けられない場所です。そこで**マルスのサンドイッチ**や**パタスブラバス**を食べたり、ビールを飲んだりできます。また、何より大事なものは**チュロス**です。この食べ物はスペインといえばの食べ物で、とても有名です。そしてとても安く、おいしくて簡単に手に入ります。熱いチョコレートを飲むのも忘れないでください。

自然が好きだったら**レティロ公園**に行くのはどうでしょうか。この公園はとても大きくて、たくさんの美しい写真をとることができます。ここではピクニックをしたり、たくさんの動物を見たりすることができます。たとえばカモなどがたくさん見られます。マドリードは首都なので留学生にとってもおすすめの場所です。また、もし歴史と芸術が好きだったら**プラド美術館**に行ってみてください。学生は無料で入ることができます。ここではベラスケスの絵が飾られています。



<https://fringemadrid.com/wp->

執筆者 D.V.さん
(マドリード自治大学からの交換留学生)

中国 北京語言大学の紹介 ①



北京語言大学は中国の首都北京にあり、1962年に設立された国立大学だ。キャンパスの面積は約33万平方メートルで、神戸外大に比べて少し大きい。学生数1万人ぐらいで、そのうち**2千人は100以上の国からの留学生**だ。そのため、世界各国の文化が共存した学習環境になって、「小さな国連」と呼ばれることもある。



校内の景色も魅力的だ。例えば「梧桐大道」と呼ばれる並木道は、四季によって違った景色が見られる。それは学生たちが毎日通る道だ。また、「万国牆」と呼ばれるところは、**161の国名が刻まれている**、それぞれが留学生たちの母国を表している。そこで北京語言大学は世界各国からの人々が集まっている場所だということを実感できる。



学生生活について言えば、キャンパスの中も外も多くの飲食店があり、生活は便利だ。授業以外の時間はたくさん活動に参加できる。スポーツ、音楽、美術など、様々な**サークルが数十団体ある**。そして、「BLCU Students' Association for International Understanding(AIU)」という学生組織があり、中国の学生とほかの国の留学生との交流のための活動を企画している。文化交流イベントや交流会や中国の伝統文化を体験する活動など、ほかの国の人と交流することで友達を作るチャンスが多く、充実した留学生活を送ることができる。

その他にも、日本人留学生だけの活動もある。毎週一回、日本語を勉強している中国人との中日交流会や、日本人の先生が企画する授業中の交流活動などだ。

ここまで読んでみて、皆さんは北京語言大学に留学したいと思っただろうか。実際の学生生活は私が紹介した以上に面白い。北京語言大学へようこそ！



<https://news.blcu.edu.cn/info/1036/30308.htm>

執筆者 W.K.Y.さん
(北京語言大学からの交換留学生)

中国 北京語言大学の紹介 ②



私の母校、北京語言大学は「学院路」という町にあり、近くに大学が10校ぐらいある。全国各地の大学生が集まっているので、全国各地のおいしい料理も集まっている。



<https://news.qq.com/rain/a/20240425A03L9900>



<https://news.qq.com/rain/a/20240425A03L9900>

大学の食堂から紹介しよう。北京語言大学の食堂はとても広い。面積はおよそ外大の食堂の2倍で、5階もある。食堂で**中国各地の料理**だけではなく、**外国の料理**も売られている。四川料理や広東料理などはもちろん、日本料理や韓国料理、西洋風の料理もある。値段も安く、食事は大体一品300円から500円くらいで食べられる。世界中の味をキャンパス内で楽しめることは、留学生が多い大学ならではの魅力だと思う。

大学の近くにもおいしいお店がたくさんある。その中で、特に人気なのは「**地大小籠包**」というお店だ。学校から歩いて5分ほどの距離だから、とても通いやすい所だ。このお店では小籠包やワンタンなど、**中国の伝統的な朝食**を楽しむことができる。もともとは朝食のお店だが、夜遅くまで営業しているので、授業や勉強で帰りが遅くなっても寄れる。看板料理の小籠包は皮が薄く、肉もとてもジューシーで、一度食べると忘れられないほどおいしい。



大学から10分くらい歩いたら、「**半重山**」という有名な**火鍋**のお店がある。「半重山」の火鍋は味が本場らしく、使われている食材も新鮮だ。辛いスープときのこスープがあるので、辛さが苦手の方も楽しめる。でも人気の店なので、18時から人がいっぱい、予約しないと2時間くらい待つことになってしまう。

北京語言大学の周辺は食環境が非常に充実している。大学の中でも外でも、おいしい料理が色々あるから、食生活に困ることはないと思う。もし北京語言大学に留学したら、ぜひ色々試してみてください。

執筆者 X.J.さん
(北京語言大学からの交換留学生)

ドイツ ミュンヘン大学の紹介①



「Ludwig-Maximilians-Universität München」は非常に長い歴史があって、1472年に設立された。大学はほぼ5万4千人の学生、840人の教授がおり、神戸市外国語大学に比べたら、大きな大学である。18の学部で約300の専門があり、法学から考古学まで様々な興味深いトピックを勉強することが可能である。

ミュンヘン大学はドイツの大切な歴史の一部で、**白バラ**という有名な反ナチスの組織がミュンヘンの大学生によって設立された。そのグループがナチスの時代にナチスのシステムに反抗して、反ナチスのチラシを配布した。そのチラシは大学の本館の前の床に散らして、本館の中に白バラの組織の記念館もある。その組織のメンバーと同じ大学に行くのは特別なことだと思う。



出典

<https://www.br.de/nachrichten/bayern/wo-die-scholl-geschwister-die-weisse-rose-flugblaetter-abwarfen,Udj7DEA>



出典 <https://www.residenz-muenchen.de/deutsch/museum/index.htm>

ミュンヘン大学の近くには遊びの機会もある。大学は街の真ん中に近くて、町の真ん中まで歩いて20分ぐらいかかる。色々な魅力的なことができる。例えばショッピングや外食などである。

それ以外に昔の王様の城もあり、中には博物館や宝庫があって、ほかにも授業の間に時間が空いていれば、行ってみることができる。

大学から町の真ん中の逆の方向に行ったら、色々な店がある。紹介したいのはケーキ屋「**Conditorei Münchner Freiheit**」である。喫茶店でコーヒーもお茶も飲めるし、色々なケーキがあり、アップルケーキなど、ドイツの伝統的なケーキが食べられる。

ドイツの固いパンやケーキはもう食べ飽きて、日本の料理が恋しくなったら、ミュンヘンに日本料理のレストランもある。「**美門**」という日本食材の店や「**ゴアジア**」というアジア食材の店もある。

ミュンヘン大学には色々な魅力的なこともあって、歴史、遊びや学習などができるのでぜひ行ってみたい。

執筆者 L.S.A.さん
(ミュンヘン大学からの交換留学生)

ドイツ ミュンヘン大学の紹介②



Ludwig-Maximilians-Universität München (通称ミュンヘン大学) はドイツのミュンヘンにあるヨーロッパで名門大学と知られている大学である。大学のキャンパスは神戸市外国語大学と違って、**メインキャンパスと学部キャンパスに分かれ、各キャンパスは街に分散している**。通学のため、地下鉄以外にはバスと路上電車(Tram)がよく使われている。朝の静かなまだ寝ているこの町を夕焼けの時間まで、**車内でゆっくり楽しむ**ことができる。そして、教室がある場所を教えるのは、Raumfinder(ラウムフインダー)という、キャンパスの地図を画像で表す**学園マップ**だ。



学科が違くと、通うキャンパスも違う。その上、授業の関係で、時々キャンパスでなく**特別な場所で勉強**することもある。例えば、私は去年ミュンヘン古代彫塑博物館でエジプト文化についての授業を受け、毎回通学するのを楽しみにしていた。



ここで、外大生の皆さんに紹介したいのは日本からの交換留学生たちがお世話になる **Japan Zentrum (日本センター)**という私たちの日本学のキャンパスだ。このキャンパスは **Englisch Garten(イギリス庭園)**というパーク(広さは東京ドーム約 80 個分)にある。山の上にある神戸市外大と同じように日本センターは庭園の中いわば自然の中にある(個人的に**森の中のキャンパス**と勝手に呼んでいる)。昼休みの時はこのキャンパス内のカフェテリアや図書館で勉強することや、パークで散歩することができる。



そして日本センターに近い **Chinesischer Turm(中国塔)**もこのパークにある。ランチタイムはドイツの食べ物を購入し、ここで食事をすることもできる。クリスマスの時、この中国塔の周りで**クリスマスマーケット**も毎年行われている。私と同じように、人が混んでいる場所が苦手でもクリスマスを楽しみたい人にこの場所をおすすめしたい。ぜひ行ってほしい！



最後に、留学が初めてでちょっと不安を感じた学生たちに、同じ母国語がドイツ語ではない留学生として一言: 不安を感じるのは普通なこと、でも日本センターにいる先生方、学生たちは日本に興味があってこそこの学部を選んだ人で、日本語が母国語である君たちから見たら私たちが外国人である。だから自分が外国人であることを考えずに、この日本センターを自分の居場所としてミュンヘン大学の留学ライフを楽しんでほしい！



毎年新学期の初めにメインキャンパスで新入生へのプレゼントを取り忘れないでね！



執筆者 W.L.さん
(ミュンヘン大学からの交換留学生)

ドイツ ミュンヘンの紹介



ミュンヘン大学がある町

私の大学がある町は**ミュンヘン**という町です。バイエルンにある大きな都市で、人口は**150万人**です。バイエルンで一番人口が多くて、経済、文化、芸術の中心でもあります。



<https://www.deutschland.de/de>

実は、ミュンヘンは本当に**多彩**な町です。場所によって街の雰囲気は全く違います。市の**中心部**は**にぎやか**で、大学や病院、大きな会社のビルが多いです。それに対して、郊外や公園の辺りは静かです。特に、**旧市街**や**歩行者天国**には車がないので、**安心な感じ**があります。



<https://www.juergen-reichmann.de>

ミュンヘン的なレストランと言えば、「**ホフプロイハウス**」というレストランが一番有名です。伝統的なバイエルンの料理が売られていて、観光客や町の人たちにも人気があります。もっと安いのは、「**ヴィンツェンツムール**」という、店内でも食事できる有名な肉店です。



<https://www.perfekt-deutsch.de>

また、ミュンヘンでは、10月に世界で最も有名なお祭りの一つ、**オクトーバフェスト**が行われています。オクトーバフェストでは、**伝統的な服**を着て、**ビール**を飲んだり、美味しい食べ物を食べたり、一緒に遊んだりすることができます。

このように、ミュンヘンは歴史、文化、自然がバランスよくそろった魅力的な都市です。機会があれば、ぜひ一度訪れてください。

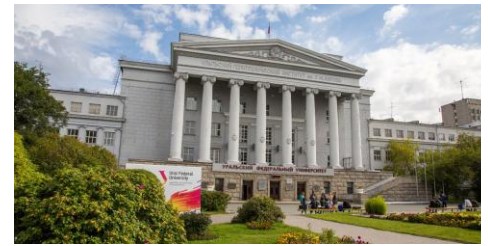
執筆者 O.W.
(ミュンヘン大学からの交換留学生)

ロシア ウラル連邦大学の紹介



青春とは、勇気を持って新しいことに挑戦し、自分を成長させる冒険をすることである。エカテリンブルクでの留学生生活を少し紹介したい。

1723年に創立されたエカテリンブルクは、現在ロシアの4番目の都市である。現代のエカテリンブルクの人口は143万人、**神戸市とほぼ同じ**だが、神戸市の人口密度はエカテリンブルクより高い。エカテリンブルクの真ん中にウラル連邦大学がある。学生数は約3万9000人であり、その中に3400人の留学生がいる。神戸市外国語大学に比べると、**約20倍**の学生数だ。



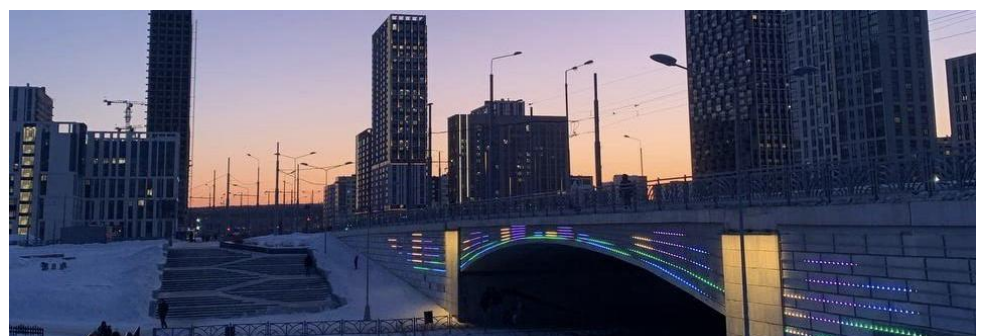
<https://summeruniversity.ru/program/urfu/>



ウラル連邦大学に入ると1階にはフランスのパン屋がある。ここでは誰でも香りがいいコーヒーと柔らかいパンが買える。その上、大学の中にはもう二つ、大学生ための食堂やカフェとサンドイッチや飲み物の自動販売機がある。大学の近くにはケンタッキーやサブウェイがある。

季節の変わり目、冬になると、エカテリンブルクはより美しくなると考えられる。雪は11月から3月まで積もっていて、平均気温は**-20度**だ。新鮮な空気は、エカテリンブルクの真ん中にあるイセチ川に沿って散歩するときや、新年のイベントに参加するときには快適な雰囲気を作っている。初めてここに来る多くの留学生は、冬こそがこの都市を本当に特別なものになっていると言っている。冬は、温かいお茶、居心地のいいパン屋やレストラン、そして都市の通りに輝く光の季節だ。春になると、気温が+12度と少しずつ暖くなる。夏の時は+23度まで気温が上がる。

エカテリンブルクは**学びと発見にあふれた魅力的な都市**であり、留学生にとって貴重な経験の場所になると思う。



執筆者 A.A.さん
(ウラル連邦大学からの交換留学生)